

No	ページ	指摘箇所	委員名	意見内容	対応
1	6	市民コメント	志村委員	市民ワークショップと同じように、意見の概要を記述すべきである。	P6～7に意見の概要を追記しました。
2	9	複合施設のコンセプト	志村委員	コンセプトが抽象的で、何のための施設なのか分からない。自然・農業・スポーツ・子育て・地域活動と連携するライブラリーというイメージがあるが。	・コンセプトを「市民が交流し、学習する場」に修正しました。 ・コンセプトを補足する表現として「図書館を含む複合施設の中で周辺の自然環境を生かし、スポーツや子育て、市民活動や地域活動との連携を目指す。」を追記しました。
3	10 11	(1)集い、活動する空間の創出 (2)市民サービスを通じた賑わいづくり	志村委員	「賑わい」ではない。「軽飲食ができる」とあるが、カフェやコミュニティ・キッチンぐらいあった方がよい。給排水設備は、非常時にも役立つ。	・交流する場と学習する場の説明が混同していたため、表題を「(1)市民の交流と学習を目的に集い、活動する空間を創出」に統合しました。 ・P10を「施設内では、ゾーンごとに～」という表現に修正しました。 ・P11表題を「(2)市民サービスを通じた交流づくり」に修正しました。 ・設備についてのご意見として、P18に「キッチンなどの給排水設備を適宜配置すること。」を追記しました。 ・カフェ等の飲食業については、法的規制の範囲内に留める必要があることから、今後、開発許可等の協議の中で慎重に検討させていただきます。
4	10	(1)市民の交流と学習を目的に集い、活動する空間を創出	志村委員	「市民意見を最大限実現するために・・・多機能な空間」というのはおかしい。これでは市民の要望がはっきりしないことになる。「多機能な空間」というのは強調しない方がよい。また、最後から2行目「・・・賑わいを創出・・・」とあるが、はたしてここで賑わいが生まれるのか。「ふれあい」「交流」ということばの方がよい。	・「上平地区複合施設は、多くの市民意見を実現する空間(バリアブルスペース)を有した施設とする。」という表現に修正しました。 ・「このように、市民の交流の場とすることでふれあいやイベントなどによる賑わいを創出し、居心地の良い施設を目指す。」という表現に修正しました。
5	11	(4)周辺環境との連携	志村委員	上平公園や市民農園を含めた全体構想が必要。この複合施設検討に含めるか、別途検討が必要。ここでも「賑わい」とあるが、「連携を生み出す」ぐらいだろう。	・「これら周辺の公共施設との連携を生み出す施設とする。」という表現に修正しました。 ・P18に「周辺公共施設との連携について検討すること。」をご意見として追記しました。

No	ページ	指摘箇所	委員名	意見内容	対応
6	12	(5)社会情勢の変化への対応	志村委員	自然換気や、自然採光を取り入れるといったことを記述する。	「自然換気や自然採光を取り入れ、」という表現を追記しました。
7	12	(6)マネジメントとの整合性	志村委員	建築面積1,000㎡にこだわると、3階建てになるおそれがある。オープンスペースは大きい方がよいが、無駄にあっても仕方がない。残地を上平公園（広場？）とするとあるが、公園（広場？）と公共施設との一体性にもとづく、パークマネジメントの発想も必要である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築面積は、基本設計で検討すべき事項のため、記述を削除しました。</li> <li>・「延べ床面積を2,000㎡程度とし、階層を1～2階程度とし平屋も可能とする。」という表現に修正しました。</li> <li>・残地の活用については、P18に「周辺公共施設との連携について検討すること」「残地の活用方法について検討すること」を意見として追記しました。</li> </ul>
8	12	(6)公共マネジメントとの整合性	鈴木委員	最後の項目「上平地区複合施設の建設費用は約10億円、年間維持管理費用は約1.6億円という試算結果になった。見直しとなった新図書館複合施設と比較し、建設費用が約28.6%、年間維持管理費用が約41.1%に縮減される。」とあるが、コロナ禍で財政が厳しい。建設すれば、年間維持費用がかかり、建設しなければかからないわけで、財政が厳しい中でのやりくりとして、どう考えるのかが記載されていない。見直しとなった新図書館複合施設と比較してみても、仕方がないと思う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P3の「3.上平地区複合施設検討の前提条件」において、新図書館複合施設よりもライフサイクルコストが下回る施設とするため、費用の比較を行なってるものです。</li> <li>・P12に公共施設マネジメントの整合性の記述を追記しました。</li> <li>・P18に「コロナ禍において、社会情勢や財政状況を考慮し、建設は慎重に進めること。」をご意見として記載しました。</li> </ul>
9	10	複合施設の概要	志村委員	ダイバーシティに配慮した施設とする。P18にある「含有科学物質等に配慮する」をここに書き、更に一步進んで「自然素材の使用を心がける」くらいの記述が欲しい。	P18に「ダイバーシティに配慮した施設として検討すること」をご意見として追記しました。建材については、実施設計で検討すべき内容のため、P18に委員からのご意見として記載しました。
10	14	施設概要比較表	志村委員	階層は、地上1～2階建てだろう。	「地上1～2階建て」に修正しました。
11	14	施設概要比較表	志村委員	残地の整備について、ここか10. 複合施設の概要に記述する。ただ広い駐車場があるのは避けたい。	残地の活用については、P18に「残地の活用方法について検討すること」をご意見として追記しました。

No	ページ	指摘箇所	委員名	意見内容	対応
12	17	策定経過の概要	志村委員	策定経過で、予定をオーバーして検討したことを記載すべきである。	「※基本構想(案)の再検討のため、追加で検討委員会を開催した。」という表現を追記しました。
13	18	検討委員会での意見	志村委員	「設計業者のアイデアを取り入れられるような選定方式を検討する」にして欲しい。入れだけはやめて欲しい。	「設計の際には、設計業者のアイデアを取り入れられるような選定方式を検討すること。」という表現に修正しました。
14	18	検討委員会での意見	鈴木委員	「キッズスペースについては安全管理を徹底すること」第3回検討委員会の鈴木委員の発言は、安全管理を徹底する、という主旨の発言ではありませんでした。場所があるだけでは交流の実現は難しい。交流を促すよう声がけするコーディネーター(常駐職員)が必要だということを伝えたかったのです。	「子育て世代が交流するスペースとして利用できるよう検討すること」に修正しました。
15	18	検討委員会での意見	鈴木委員	「ただの空間になってしまっては勿体ないので、多目的ゾーン・コミュニティゾーンの活用方法を十分に検討すること。」第4回検討委員会、小川委員の発言。1階は、支所は新たなサービスを生み出す場所ではない。それを補完する意味で多目的ゾーン、コミュニティゾーン、キッズゾーンをつくる。この施設を喜んでもらえるかは既存のサービスにプラスアルファする部分にある。…各課と協議しながら考える必要がある。とありましたが、「キッズゾーン」が落ちてしまっています。「キッズゾーン」も加え、「活用方法を担当課とともに十分に検討する。」としてほしい。	「子育て世代が交流するスペースとして利用できるよう検討すること」に修正しました。
16	18	検討委員会での意見	古沢委員	・市民が来たいと思うようなサービスやイベントを行い、魅力を高めてほしい。	「市民が来たいと思うようなサービスやイベントの提供を検討すること」を意見として追記しました。
17	18	検討委員会での意見	古沢委員	・カフェを設置してほしい。	カフェ等の飲食業については、法的規制の範囲内に留める必要があることから、今後、開発許可等の協議の中で慎重に検討させていただきます。

No	ページ	指摘箇所	委員名	意見内容	対応
18	19	配置図	志村委員	既存部分とイベント広場との関係はどうなるのか。そもそもここは「イベント広場」なのか？発想が貧困なので書かない方がよい。既存部分が真っ白というのもよくない。折角なので、よくする発想が欲しい。	用途を限定していないため、「広場」に表現を修正しました。また、既存駐車場部分は、現状のまま使用するため、そのまま記載します。残地の活用については、P18に「周辺公共施設との連携について検討すること」「残地の活用方法について検討すること」をご意見として追記しました。
19	19	配置図	志村委員	上平公園まで含めた広域の図で、各施設の連携をイメージする図が欲しい。	周辺の公共施設との連携については、P18に「周辺公共施設との連携について検討すること」「残地の活用方法について検討すること」をご意見として追記しました。
20	20	平面図ゾーニング	志村委員	写真でアップのもの「学習席」や「運動後などの交流」の写真はいらない。カフェやコミュニティ・キッチンの記述が欲しい。	カフェ等の飲食業については、法的規制の範囲内に留める必要があることから、今後、開発許可等の協議の中で慎重に検討させていただきます。キャプションを「飲食しながら交流可能」と表現を修正しました。